

新小山市民病院ニュースレター Shin-Oyama City Hospital News letter No.2

<http://www.hospital-oyama.jp/>

〒323-0028 栃木県小山市若木町1-1-5 ☎0285-21-3800 (代表)

病院長挨拶

「地域完結型医療を育てる会」を育てる

新小山市民病院となって4カ月が過ぎました。第一四半期の本院の診療実績は、昨年に比し、入院患者数は1割、手術件数は5割増加し、ますますのスタートでした。新しく4月から常勤医が加わった脳外科や心臓血管外科の症例が追加され、10月からは眼科の手術も再開される予定です。また時間外緊急手術についても、大学の協力を得て、少なくとも本院の輪番日（月、水、土）は実施できる体制が整いましたので、ご紹介をお願いします。それ以外の日も、本院麻酔科医がオンコール体制になっていますので、事情によって対応可能です。本院で対応が困難な症例は、ICU管理や高度な専門性を要する疾患です。

小山地区医師会の全面的なご支援を得て、「小山市の地域完結型医療を育てる会」が毎月1回開催され、これまで消化器内科、外科、神経内科、循環器内科が現在のスタッフや診療の実績を紹介し、具体的な状況での開業医の皆様と私たちとのやりとりなどが話し合われました。率直なご意見やご要望、ご提案を頂き、参加された先生方からはご好評をいただいております。新小山市民病院が真に地域の中核病院として機能できるためには、地区医師会との良好な関係を築くことが必須です。少なくとも新病院に移転する27年度までは、毎月1回、この会を継続いたします。未だ参加されていない先生方も是非お越しいただき、「小山市の地域完結型医療を育てる」ために、“生まれ変わろうとする”新小山市民病院を厳しく、そして暖かく見守っていただきますよう、お願い申し上げます。



平成25年9月

新小山市民病院 理事長・病院長
島田和幸

主なトピックス

契約締結式 ～JV決定!!～

平成28年1月の開院を目指しております新小山市民病院建設事業につきましては、事業者の柔軟かつ高度な発想力と設計施工能力、豊富な経験等を評価する公募型プロポーザル方式により選定させていただきました。審査委員会による審査を経て、大成建設・久米設計特定建設工事JVを優先交渉権者に決定し、契約締結に向けた基本協定を締結しました。

その後、大成建設・久米設計特定建設工事JVが、契約にかかる前提条件である小山市内の事業者との企業体を結成し、大成建設・久米設計・板橋組・斉藤組・荒川電気工業・ヒタチ設備特定建設工事JVを設計業務委託および建設工事請負の相手方として、事業契約を締結させていただきました。





診療科からのメッセージ

診療科紹介 整形外科

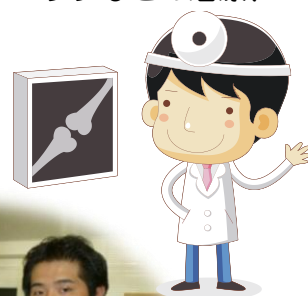
整形外科は7月より常勤医3名非常勤医2名で診療を行っております。

地域の基幹病院として骨折を中心とした外傷に最も力を入れており、その他脊椎外科、人工関節置換術を中心とした関節外科を行っております。

当院の役割として、外来だけでは治療困難な患者様をいかに元の日常生活レベルに戻してあげるかを中心に考えております。患者様個々の生活背景を考えたうえで、可能な限り積極的な治療を行っております。当院のスタッフだけでは対応できない疾患でも、他病院から応援を仰ぎつつ行っております。最近では、一般病院では治療困難な人工関節周囲部の骨折にも力をいれており、術後早期の離床と患者様の社会復帰に少しでも貢献できたのではと考えております。

外来でも通常の疾患に加え、骨軟部腫瘍の診療、慢性疼痛疾患に対する介入や神経ブロックなどの治療、褥瘡を中心とした高度軟部組織欠損に対する治療も行っております。

小山市内の地域医療の中心となれるべく日々努力してまいり所存です。
よろしくお願い申し上げます。



新任医師からのご挨拶



☆4月1日より新しい先生方が着任されました☆



4月から新小山市市民病院 外科に赴任しております、青木裕一と申します。

専門分野は消化器一般です。様々な症例を経験したいと考えております。

何かと至らない点が多々あるかとは思いますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

外科医師

青木 裕一

小児科医師

今川 智之

4月から新小山市市民病院小児科で勤務しております、今川智之と申します。

富山大学を卒業後、自治医科大学付属病院で

初期研修を終え、自治医科大学小児科に入局いたしました。

専門分野はまだありませんが、まずは小児科専門医を目指し様々な症例を経験したいと考えております。

至らぬ点が多々あるかとは思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。





☆7月1日より3名の新しい先生方が着任されました☆

腎臓内科科長

井上 真

この度、7月1日から新小山市市民病院、腎臓内科科長として赴任しました井上真（いのうえまこと）と申します。秋田大学を卒業後、自治医科大学付属病院で初期研修を行い、そのまま同大学の腎臓内科に入局しました。

元日本腎臓学会理事長の浅野教授や、自治医科大学付属病院前副院長の草野教授のご指導のもと、臨床、研究、教育に携わり、かわしま内科クリニックという診療所から茨城県立中央病院といった大病院などに出身し、腎臓病治療、透析療法はもとより、一般内科や救急治療などを経験してきました。

この数年、CKD（慢性腎臓病）という概念ができ、早期に医療介入をするよう勧められております。その中でも、糖尿病性腎症や腎硬化症（高血圧性腎症）を原因とする透析導入患者が急増しています。これらの病気は、早期に治療すれば、腎不全や透析になるのを食い止める事ができます。しかし、糖尿病や高血圧の患者は軽症も含めれば莫大な人数となり、腎臓内科医師のみでは予防する事は不可能であります。

したがって、小山市付近で開業されている先生方のお力を拝借し、栃木県南地区のCKDの早期発見、早期治療に取り組んでいきたいと考えています。CKDの治療には、内服治療だけでなく食事療法も重要となります。栄養指導についても積極的に行っていきたいと思っております。

よろしくお願い申し上げます。



循環器内科医長

河野 健

この度、7月1日より循環器内科医長として赴任いたしました河野健と申します。

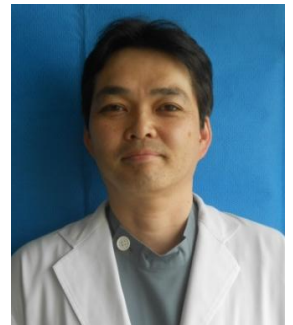
平成6年北里大学医学部を卒業し、内科学・循環器を専門としております。北里大学では臨床循環器医として活動し、研究面では主に心筋炎・心筋症・心不全の基礎的研究を、アメリカ・ネブラスカ州立大メディカルセンターにおいて行っておりました。帰国後は数年間の病棟業務を経て、北里大学東病院心臓二次予防センター長を務めてまいりました。心臓二次予防センターとは、心臓一次疾患の急性期治療が終了した方を実地医科の先生方に、安心して診ていただけるように年1度のハートチェック（定期的検査）を行い、結果の解析と症例によっては治療方針におけるアドバイス等を書面（診療情報提供書）により報告させていただき、同時に実地医科の先生方からの受診相談、診療依頼にも応える部門です。発足10年で登録患者数が4000人を超え、現在まで患者様、かかりつけ医の先生方からもご評価をいただける部門に成長いたしました。

同部門の責任者となり、大学病院―実地医科の先生方との両方向性の病診連携を円滑に図る事の重要性を肌で感じておりました。

この度ご縁あって、自治医科大学循環器内科にお世話になることとなり、現在に至ります。

新小山市市民病院においても、専門領域の治療のみではなく、常に円滑な病診連携を意識しながら、日常診療を行って参りたいと思っております。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



麻酔科科長

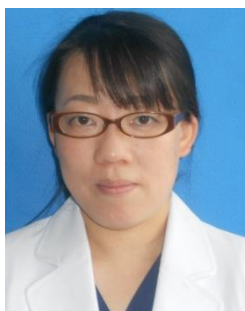
竹内 瑞枝

平成25年7月1日から麻酔科常勤医として自治医科大学から赴任しました竹内です。3年ほど前に非常勤で勤務していましたが、今回で二度目の勤務となります。私は、小山市出身で自宅から市内の小学校・中学校に通学していました。今回、私の生まれたときからあった病院が、新しくなることを知り、喜びと同時に、若干寂しい思いもしております。

引き続き、新病院についても何か関わっていければという思いでいます。

私の仕事は、手術麻酔を主としております。今後、自治医科大学の手術室と連携して地域の待機手術症例や緊急手術症例を重症度などによって振り分け、円滑に対応できる努力をしたいと思っております。また、ここ最近の傾向として、女性医師の増加が挙げられます。その女性医師が存分に働くためには、育児サポートが重要と考えております。育児サポートを強化することで、子育て中の女性医師の労働環境も改善され、大切な人材確保につながると考えております。今後、子育て女性医師の支援方法なども考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

何かと至らない点も多いかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。





医療安全管理室 活動報告

当院の理念の1つである「安全で質の高い医療」を提供するために、平成20年度に医療安全管理室が設置されました。「安全で質の高い医療」を提供するためには、職員一人ひとりが、常に患者様の安全を意識し、日々の業務に従事することが重要です。職員に対しては、医療安全に関する研修会を年2回開催し、医療安全を考える週間を設けています。6月に前期医療安全推進週間がありましたので、ご紹介したいと思います。

1. 職員一人ひとりに「医療安全」に関する標語を募集しました。応募作品は186作品。

- 《優秀作品》
- ① 1人の目より2人の目多くの目で、安全確認
 - ② 変わったね、みんなですすもうチームを組んで、新小山市市民病院
 - ③ あわてるな 急な時こそ ゆっくりと
 - ④ 再確認 患者の名前と生年月日
 - ⑤ 医療安全点検いつやるの！「今でしょ」



2. 医療安全に関する現場の取り組み報告会

- ① 手術室・中材・・・滅菌物の期限切れ防止、保管状況の確認ラウンドの実施。物品の確認ができ、紛失の防止のためのセットメニュー表作成。
- ② 中5階病棟・・・小児科の転落防止対策について、患者家族への説明パンフレットや、ベッドへのシール表示の紹介。
- ③ 臨床検査室・・・特定化学物質障害予防規則改定についての説明。抗酸菌と検査室のホルムアルデヒドの許容濃度管理濃度について説明。5S活動。
- ④ 放射線科・・・MRI検査についての注意事項。患者への事前チェックの必要性。チェック表の改善、使用方法。
- ⑤ 臨床工学室・・・各職員の紹介。臨床工学士の主な仕事紹介。1日の仕事の流れについての紹介。

3. 基調講演：「クレームへの対応」

今年度から当院の顧問弁護士になりました先生をお招きし、講演会を開きました。納得とは…理解＋心情、患者や家族は何を言いたいのか考えてみましょう。

「安心して新小山市市民病院には受診できる。」と言われるように、職員全員が「安全な医療提供」を目指して活動しています。

認定看護師の紹介



平成25年度、新たに『緩和ケア認定看護師』と『がん化学療法看護認定看護師』の2名の認定看護師が誕生しました。

認定看護師は、認定看護教育機関で6か月・615時間以上の教育を受け、認定審査に合格して資格が得られます。

当院では、すでに4名（脳卒中リハビリテーション認定看護師、感染管理認定看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師）が活動しています。今後もそれぞれの分野で、患者さんやご家族が安心して治療を受けられるよう活動していききたいと思います。

お知らせ

平成25年7月1日から、整形外科の水曜日と木曜日の診察は、紹介状（診療情報提供書）をお持ちの方、予約の方のみとなります。何卒ご理解、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

受付窓口 整形外科外来受付 ☎ 0285-21-3847

受付時間 午前 8:30～12:00

午後 1:00～5:00

医療連携相談室（受付時間 平日8:30～17:15）

医療連携に関する業務

- ① 紹介患者さんに関する事務
- ② 地域の医療機関からの紹介患者さんの診察や検査予約の受付
- ③ 地域医療機関訪問

患者さん・ご家族に関する相談業務

- ④ 「小山市市民病院診療科案内」などの作成と発送
- ① 適切な医療機関や福祉施設などの紹介
- ② 在宅医療や訪問看護に向けての調整
- ③ 医療費などの経済的問題の相談
- ④ 介護保険や身体障害者手帳などの制度の紹介や利用の相談 など

医療連携室 TEL 0285-21-3849 医療相談室 TEL 0285-21-3865

FAX 0285-21-3896（連携室・相談室共通）

※メールでも受付しております。

医療連携相談室 renkei@hospital.oyama.tochigi.jp



Oyama City Hospital
OYAMAKUMA & Lady OYAMAKUMA